

競技注意事項

1 競技規則について

2023 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。

2 招集について

- ①競技者は、招集完了時刻 5 分前までに競技者控所（第 3 ゲート）に集合し、競技者係の点呼とナンバーカードの確認を受け（最終コール）待機する。
- ②招集は、本人が招集所において招集を受ける。ただし、リレーと兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し立て了解を受ける。この場合代人を認める。
- ③招集に遅れた場合は、棄権とみなし出場を許さない。
- ④招集時刻は下記のとおりとする。時間は競技開始時刻を基準とする。

種目	ラウンド	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	決勝	20 分前	10 分前
フィールド競技	決勝	40 分前	30 分前

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ①アスリートビブス（ナンバーカード）は胸と背に 1 枚ずつ確実に付けること。
女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように 4 ケ所で確実に留めること。
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に 1 枚つけるだけでよい。
- ②トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。
腰ナンバーは招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後は各自の責任において持ち帰り、処分すること。
- ③ランニングシャツの形状により、裾を外に出して出場する場合は、必ず腰ナンバーが見えるようにすること。

4 競技場で使用する競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは、9 mm 以内とする。ただし、走高跳は 12mm 以内とする。
いずれの場合もスパイクピンの数は、11 本以内とする。ピンの形状は全天候舗装の競技場で使用できる物とし、土のグラウンド用のピンを使用することは禁止する。
- ②靴底の厚さは日本陸上競技連盟競技規則に準じるものを使用すること。

5 棄権について

出場種目を棄権する場合、本大会においては特に申し出なくとも良い。
招集完了時刻に競技者が競技会場に来ておらず、同一時刻に他種目に出場する旨の連絡もない場合は、棄権したものと見なす。

6 練習について

- ①練習会場はカンセキスタジアムにおいて、バックストレート（競技が実施されていないとき）や雨天練習場を利用すること。安全に留意して練習を行うこと。
- ②カンセキスタジアムの雨天練習場は、ジョギングエリアとドリル・流し・ダッシュエリアに区切るので、安全に留意して使用すること。
- ③カンセキスタジアムでの練習は、跳躍・投てきピット、芝生内の使用は認めない。

- ④投てき練習については、競技場所での競技前の練習試技のみとする。
- ⑤カンセキスタジアム1階管理通路および2階の外周での練習は不可とする。
総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。(ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。)選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習は禁止する。(メディシンボール投げやハードルを用いた練習等も禁止。)

7 競技者の入退場について

- ①招集後のスタジアム内への入退場は、各ゲート（1～4）からとする。
- ②競技開始以降のスタジアム内競技場所への出入りは競技者のみ許可する。付添人・指導者等の入場は不可とする。
- ③トラック競技に出場する競技者は、フィニッシュ後はバックストレート側を通過してスタート地点に戻る。フィニッシュ後にメインスタンド前を通らないこと。
- ④フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従うこと。
- ⑤メインスタンド1階は原則として役員・審判員のみ入場可とする。ただし、表彰状の受取りや救護室利用、競技中のWC利用に限り、競技者の入場を可とする。

8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順等について

- ①トラック競技の予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので、審判員の指示に従うこと。
- ②リレー競走に出場するチームはリレーオーダー用紙を作成し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出する。リレーオーダー用紙は招集所で配布する。

9 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について

走高跳のバーの高さについては、跳躍審判長の指示による。

10 競技用器具について

競技に使用する用器具は、競技場に備え付けの用器具のみ使用できる。ただし、リレーや走高跳のマーカーは各自で用意すること（テーピングテープなど）。

11 表彰について

- ①市対抗・町対抗ともに、対抗種目の合計得点により第1位の市町へ優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。
- ②市対抗・町対抗ともに、対抗種目の合計得点により第1位の市町へ優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。
- ③個人表彰として、各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。
- ④表彰状はメインスタンド1階ホールにて配布する。

12 競技について

- ①トラック競技は決勝ラウンドのみ実施する。フィールド競技（走高跳以外）はトップ8による6回試技を実施する。
- ②競技は市対抗・町対抗とする。
- ③各種目の得点は、1位8点、2位7点…7位2点、8位1点とし、その合計得点により市対抗・町対抗の順位を決定する。なお、合計得点が同点の場合には、1位種目の多い市町を上位とする。
- ④助力に関する違反については、日本陸上競技連盟競技規則 TR 6 による。

14 その他

- ①各市町のチーム受付は、カンセキスタジアムメインスタンド1階ロビーで取り扱う。受付は市町の代表者が代表して行い、その他の選手や関係者は原則として1階ロビーには立ち入らない。
- ②各チームの選手や関係者は、カンセキスタジアム2階A・C・E・Gゲートから入場し、観客席で待機すること。観客席は全て自由席とする。各チーム待機場所として、2階コンコース（通路）を使用する場合は、通路の半分を空けること。
- ③スタジアム内1Fのトイレは、100mスタート付近の正面スタンド内トイレを使用すること。出入りについては100mスタート付近からの出入りに限定する。
- ④更衣室については、男女ともスタジアム2Fトイレ内の更衣スペース等を使用する。
- ⑤競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。

15 災害時の避難場所

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。雷発生時などは、競技役員の指示にて屋内に避難する。